

高齢者を地域で支えるモデル事業の進捗状況について

I. 地域包括ケア推進アドバイザー

氏名	所属等
河田 珪子	支え合いの仕組みづくりアドバイザー
斎藤 忠雄	在宅療養支援診療所・緩和ケア診療所 斎藤内科クリニック 院長
清水 義晴	新潟県地域づくりアドバイザー
江口 歩	有限会社ナマラエンターテイメント 代表取締役
松山 茂樹	新潟医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授
市井 栄吉	特別養護老人ホームはまゆう 施設管理者
竹石 こずえ	地域包括支援センター白根北 施設管理者

就任年月日 平成26年7月1日

II. 高齢者生活支援コーディネーターの配置

- ① 任用 ・配置先／各区健康福祉課1名 計8名
 ・任用年月日／平成26年8月18日（東区，中央区，江南区，西区，西蒲区）
 平成26年9月1日（北区，秋葉区，南区）
- ② 業務内容
 - ・地域資源の開発推進支援
 - ・関係機関のネットワーク構築

III. 高齢者を地域で支えるモデル事業選定状況

・公募期間／平成26年6月22日～7月31日 ・申込総数／32件，うち選定数27件

選定部署	市	北	東	中央	江南	秋葉	南	西	西蒲	合計
選定団体数	3	2	4	4	3	3	2	3	3	27

【団体分類】

コミュニティ協議会		2	2	2	2		1			9
自治会・町内会				1						1
ボランティア団体 ・任意団体						3	1		2	6
NPO法人				1	1			1		3
社会福祉法人			1					1	1	3
職能団体	2									2
その他	1 開発公社		1 医療生協					1 株式会社		3

【展開パターン分類】※複数可

選定部署	市	北	東	中央	江南	秋葉	南	西	西蒲	合計
生活支援型		1	2	3	1	2	1	1		11
生きがい対応型			2	3	3	2		2	1	13
介護予防型	2	1	3	2	2	1	1	2	1	15
認知症対応型	2		2		1				2	7
医療・介護連携型	1		2						2	5
団体提案型	3		2	1	1	3	1	3	3	17
計	8	2	13	9	8	8	3	8	9	68

IV. 地域包括ケア推進モデルハウス

① 目的

地域包括ケアシステム構築にむけた、住民の支え合い活動をけん引する拠点施設として設置する。また、事業にかかる運営については、地域住民組織の参画と、本市地域包括ケア推進アドバイザーである河田珪子氏のノウハウを活かしながら、展開を進める。

② 物件概況

形態	借家／一戸建て住宅	築年数	44年（S44年12月築）
間取	9SLDK	専有面積	287.86㎡
住所地	東区紫竹4丁目	駐車場	4台分
構造・規模	木造2階建て	学区	江南小・石山中
自治会	紫竹3区自治会	コミ協	紫竹中央コミュニティ協議会

③ 運営体制

市が物件の賃借を行い、運営は任意団体「実家の茶の間」（代表河田珪子氏）に委託。

④ 展開機能

- ・実家の茶の間開催（週2回程度）
- ・生活支援コーディネーター研修の場
- ・生活支援活動（例：まごころヘルプのような住民同士の支え合い活動）
- ・新潟お笑い集団ナマラ代表 江口歩氏による『よろず相談』

⑤ 開設予定

- ・10月初～中旬 住民説明会
- ・10月18日 開設